

第23回 新成人意識調査

2018年「新成人」の恋愛・結婚に関する意識調査

**新成人の恋愛・結婚に関する意識は、昨年からのV字回復トレンドを継続！
交際経験のある新成人は62.0%（昨対3.0%増）、若者の草食化も終焉に向かう？！
「結婚したい」新成人の割合が83.8%、過去16年間で最も高い数値に回復！**

楽天グループの結婚相手紹介サービス会社、株式会社オーネット（本社：東京都世田谷区 代表取締役社長：森谷学）は、2018年に成人式を迎える新成人600名（男女各300名）に、「恋愛・結婚に関する意識調査」を行いました。

この調査は1996年1月に実施した「新成人の恋愛・結婚観／団塊ジュニアの意識調査」の第一回目から毎年実施し、今年で23回目となります。この新成人の意識調査は、日本国内の経済や社会情勢、また世界情勢そして自然災害等の様々な時代背景を含め、その時々若者たちを取り巻く環境がその年に成人を迎える若者たちの恋愛・結婚に対する意識や行動に、少なからず影響を与えていることが調査結果にもあらわれる定例意識調査となります。

国内では少子高齢化・超高齢化社会・日本の総人口減少などの問題が日常的に取り上げられているこの時代背景において、今後の日本の担い手である新成人の恋愛・結婚に対する意識、考え方、そして行動がどのようなものなのか、また昨年との比較、過去からの推移などを含めて本年の調査結果をご報告いたします。

今回の調査対象となる新成人は1997年4月2日～1998年4月1日の期間に生まれた若者たちとなります。ちなみに彼らが生まれた1997年は、国内では消費税が5%に引き上げられ、また日本サッカーが悲願のワールドカップ「フランス大会」に初出場を決めたのもこの年でした。その年の流行語大賞は「失樂園」で、また、「東京湾アクアライン開通」や安室奈美恵さんの「CAN YOU CEREBRATE?」がレコード大賞を受賞し、映画では「もののけ姫」が大ヒットをした年となります。その後、彼らが中学に入学した年にあたる2010年には、情報端末の「iPad」が大流行し、映画では「アバター」が大ヒット、小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還し話題となりました。そして翌年の2011年には「東日本大震災」が発生し、家族を含めて人との「絆」が見直された時期でもありました。

今年成人式を迎える彼らは、幼少期から中学・高校と既に様々な状況においてインターネットやSNSが当たり前として生活の中に介在する環境で生活してきた世代であり、2012年12月以降の第二次安倍内閣によるアベノミクス等による景気の回復トレンドの中で青春時代を過ごしてきた若者たちとなります。

昨年の調査結果では、恋愛・結婚意識ともに、これまでの傾向から大幅に回復傾向に転じた内容の調査結果を報告いたしましたが、昨年的大幅な回復傾向転換のトレンドの詳細をより詳しく把握する為に、今年の調査時期、そして項目及び設問は、結婚感の「結婚希望時期」の選択項目を5歳刻みから1歳刻みとした以外は、全く同じ設問内容にして調査を実施いたしました。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com



2018年 新成人の恋愛・結婚意識調査



～ トピックス ～

(1) 新成人の＜恋愛意識＞

- ・「これまで交際経験がある」は、男性 55.3%、女性 68.7%で、全体では 62.0%が経験あり！
全体では昨年の 59.0%から 3.0%増加、さらに一昨年調査の 57.2%から 2 年間で約 6%も増加！
- ・「現在交際している異性がいる」は全体で 31.5%、昨年の 30.7%に続き 2 年連続 30%超に！
若者の恋愛離れ、草食化は昨年以降改善傾向にあり、10 年前の 2008 年調査結果 29.2%を上回るまで回復！
- ・出会いのきっかけは、男女共に 1 位は「学内(大学・専門学校)で、2 位は男性が「中学・高校の同級生」女性が「アルバイト先」、そして 3 位は、昨年の女性 4 位、男性 7 位の「SNS」がランクイン！
- ・男性の 61.4%が「自分から告白した」という調査結果は、昨年と比べて 2.7%割合が上昇！
- ・「交際相手がない」と答えた人の 8 割近くが「交際相手がほしい」と回答！
「交際相手が欲しい」理由は「一緒に時間を過ごす相手がほしい」「ときめきたい」が主な理由で昨年と同様！
「交際相手がいない」理由で、「金銭的余裕がない」という回答が、昨年 40.0%⇒11.8%と割合が激減する！
- ・今後異性との交際を「積極的にしていきたい」が 48.0%、昨年の 42.8%よりも 5.2%拡大！
特に男性は昨年の 39.3%から 47.0%と割合が大きく上昇し、この結果からも若い男子の草食化終焉の兆し？！
- ・「デートの費用は割り勘がよい」と考えるのは、男性が 37.0%、女性が 48.7%という結果に！
女性は一昨年は 36.6%で昨年は 53.0%、今回の調査では 48.7%という結果に！

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

-
- ・「恋人への誕生日プレゼントの金額」は、全体で昨年調査とほぼ同様の5,000円～10,000円が45.2%！
10,000円以上の割合が、昨年調査の25.3%から30.3%と増加し、これも景気反映の結果？！
 - ・「SNSで知り合った異性との恋愛はあり」については、昨年の37.3%から40.2%へと増加！
昨年の女性34.0%から39.3%と5%増加し、SNSの普及が出会いや恋愛にさらに浸透してきている？！
 - ・「好きになった人をネットで検索したことがある」は、全体で44.3%で、昨年の37.2%から拡大！
特に女性は5割以上が好きになった人を検索しているという結果が！
 - ・「実際にSNSで知り合いリアルのつき合いをした事がある」は、昨年10.0%から15.2%に拡大！
男性は昨年の8.7%から18.0%と大幅に増加している！

.....

(2)新成人の〈結婚意識〉

- ・「結婚したい」が昨年79.0%から83.8%へさらに3.8%増加し、2010年と同じ水準まで回復！
2002年以降16年間で割合が最も高い結果となり、若者の結婚に対する意識の高まりが調査結果に反映！
- ・「結婚したい」理由は、「好きな人と一緒にいたい」「子供がほしい」「家族がいると幸せ」が主な理由
結婚したい主な理由はこの3つで、昨年と同じ結果に
- ・結婚する希望年齢は、25歳が男女とも割合が高く、25歳～29歳が男女共に6割を超える結果に！
30歳以上と回答した割合は、男性が17.3%、女性が8.3%で、全体では12.5%という結果に！
- ・「結婚をするつもりはない」「するつもりはないがいずれはするだろう」と回答した16.2%の理由は？
「自分の時間がなくなりそう」「結婚のメリットがわからない」「結婚生活に自信がない」「経済的理由」の順に！
- ・一方で「自分は結婚できないかもしれないと思う？」という質問に、約6割が「はい」と回答
「わからない」が16.7%で、あわせて8割が結婚できるかどうか不安を持っている結果に！
- ・専業主婦（主夫）になりたいか、という質問に女性は昨年と横ばい、男性は5%「はい」が増加？！
- ・結婚後の「子供がほしいかですか」の質問に、全体で68.8%が「ほしい」で昨年とほぼ変わらず！

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

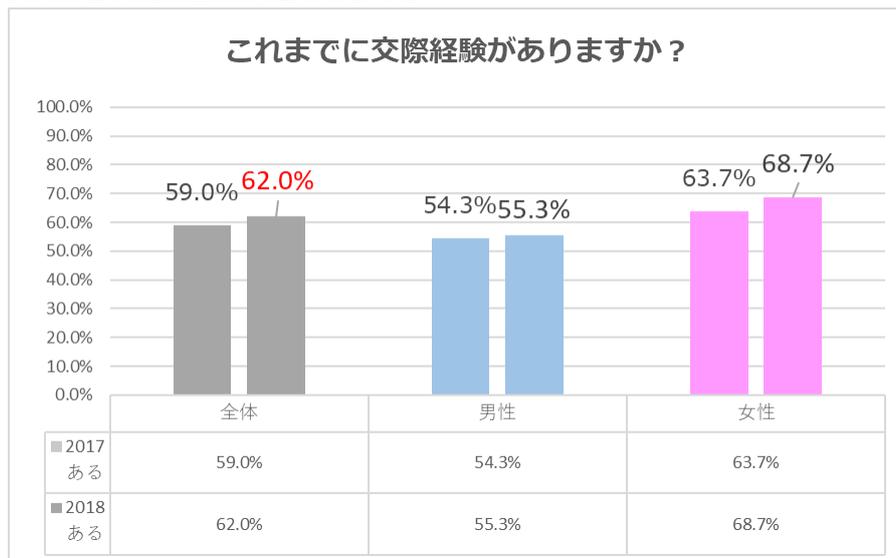
(1) 新成人の〈恋愛意識〉

交際経験のある新成人割合が、昨年よりさらに 3.0%拡大し 62.0%へ！ 2008 年頃「草食化」が話題になり約 10 年！若者の草食化も徐々に終焉に向かう？！

昨年 1 月にリリースした「2017 年新成人の恋愛・結婚に関する意識調査」では、それまで 2008 年頃から話題となっている若者の草食化に歯止めがかかり、若者が以前のように恋愛・結婚を望む傾向に転じた内容を報告いたしました。その要因の一つとして、前年に大ヒットした映画「君の名は。」の影響も少なからずあるかも知れないことを示唆しました。しかし、今年の調査においても、引き続き若者の恋愛・結婚感のさらなる高揚が、各設問を通じて見えてくる結果となりました。「交際経験の有無」や「恋人の有無」、また、「異性との交際を積極的に望むか」という質問に対して、いずれも昨年に引き続き回復傾向が顕著となっており、昨年からの V 字回復の傾向が引き続き進んでいることが調査結果からわかりました。また、インターネット環境が当たり前の中で育った世代ということもあり、異性との交際的手段として SNS の活用なども、これまでの調査より増加傾向にある調査結果となりました。若者の草食化が話題となって約 10 年が経過しましたが、昨年以降は回復傾向となっていることが、昨年の調査結果とあわせて今年の調査結果からもわかります。

■これまで「交際したことがある」は男性 55.3%、女性 68.7%で全体で 62.0%が経験あり！

男女全体では昨年の 59.0%から 3.0%増加し、一昨年調査の 57.2%と比べると約 6%増加し 62.0%という結果となりました。今年の新成人の 62.0%は「交際経験がある」という結果は、昨年に引き続き新成人の恋愛に対する意識が高まっていることが反映された調査結果となります。



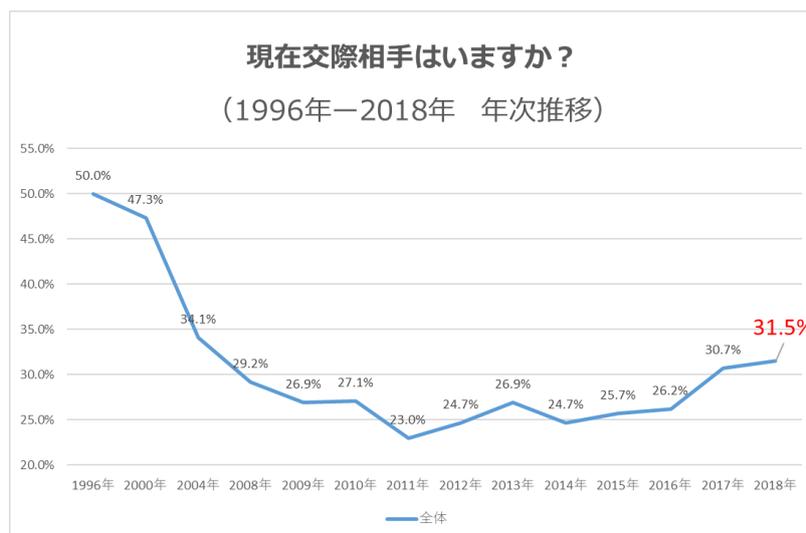
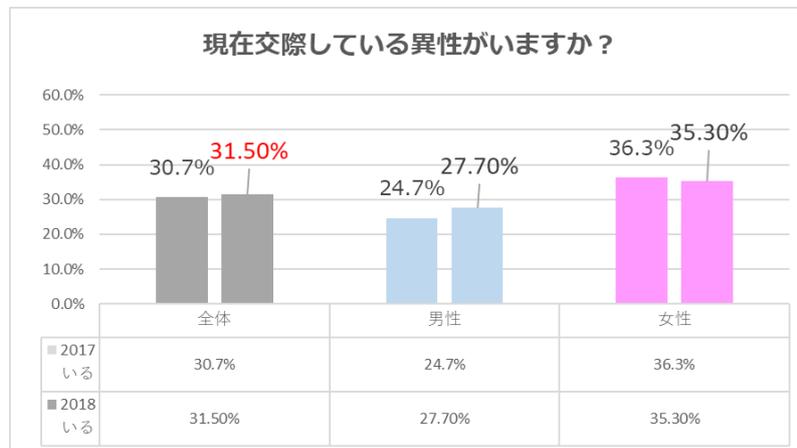
【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

・「現在交際している異性がいる」のは全体で 31.5%で、昨年の 30.7%から 0.8%増加！

若者の恋愛離れ、草食化傾向は昨年の調査結果で回復傾向に転じた結果がいくつかの調査結果から見られる結果となりましたが、「現在交際している異性がいる」という調査項目の結果である 31.5%という数値は、下降傾向にあった 10 年前の「草食化」というワードが話題となった 2008 年の 29.2%を上回る結果となり、昨年に引き続き若者の草食化が徐々に終焉に向かう傾向にあることがこの調査結果からもわかります。



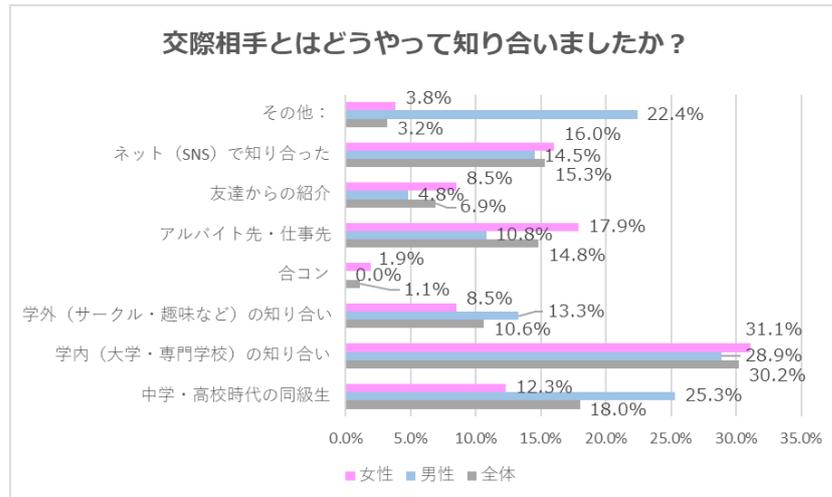
・出会いのきっかけは、男女共に 1 位は「学内(大学・専門学校)で、2 位は男性が「中学・高校の同級生」女性が「アルバイト先」、そして 3 位には、昨年の女性 4 位、男性 7 位だった「SNS」がランクイン！

「出会いのきっかけ」についての質問では、やはり昨年同様に「学校（大学・専門学校）」での出会いが最も多く、次いで男性が「中学・高校の同級生」、女性が「アルバイト先」となり、2 位までは昨年と同じ結果となりました。そして男女とも 3 位にランクインしたのは「SNS」で、昨年は男性 6 位、女性 5 位から 3 位に急上昇という結果となり、冒頭でも触れましたがインターネット、SNS が日常生活で当たり前で介在する環境で育った世代として当然の結果なのかもしれません。インターネット環境が日常に浸透している世代にとって、今後もこうした傾向はさらに高まっていく傾向にあるのかもしれません。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

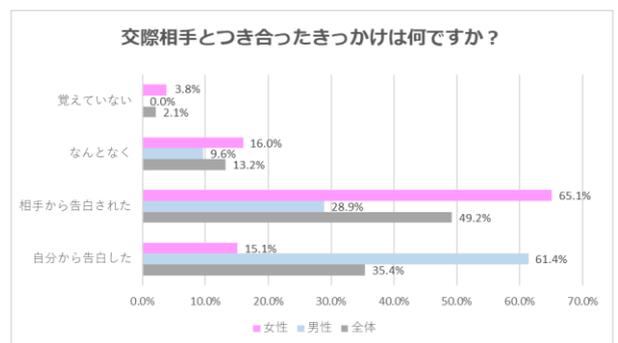
TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com



・男性の6割以上が「自分から告白した」という結果は、昨年より2.7%も高い結果に！

交際相手とつき合ったきっかけについての質問に対して、男性の61.4%が「自分から告白した」という結果となり、昨年の調査結果 58.7%と比べると 2.7%割合が高くなり、この調査結果からも男性が昨年より恋愛に対してより積極的になってきていることがわかります。

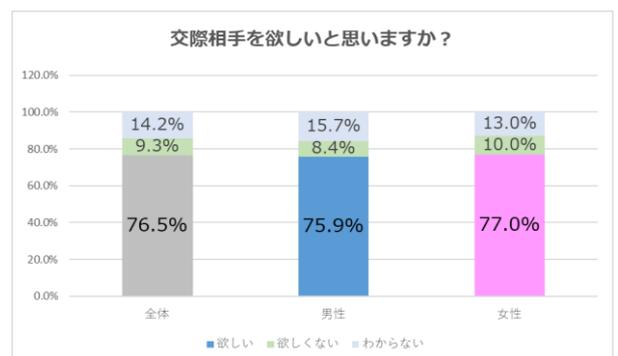
一方で女性は「自分から告白した」のは昨年 14.7%で、今年の15.1%とほぼ変わらない結果となりました。



・「交際相手がいない」と答えた人の8割近くが「交際相手がほしい」と回答！

現在「交際相手がいない」と回答した若者に、「交際相手が欲しい？」かという質問に対しては、全体で76.5%の人が「欲しい」と回答し、昨年の74.7%から1.8%高い割合となりました。

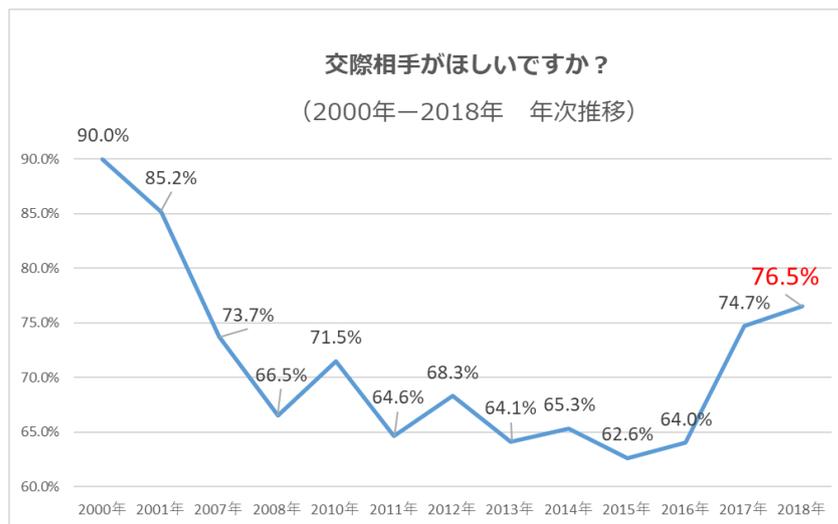
一方で、「欲しくない」という回答は全体で9.3%で、昨年の8.8%から0.5%高い結果となり、「わからない」と答えた回答が昨年の16.5%から14.2%と低い結果となりました。



【報道関係社様問い合わせ先】

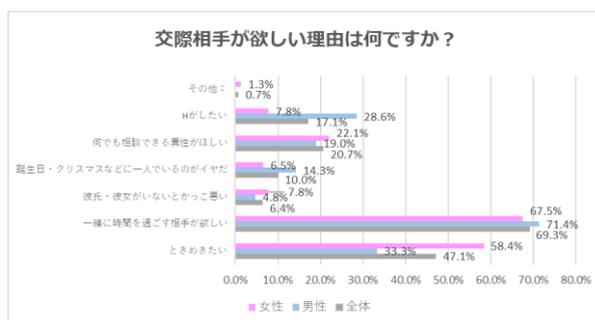
楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

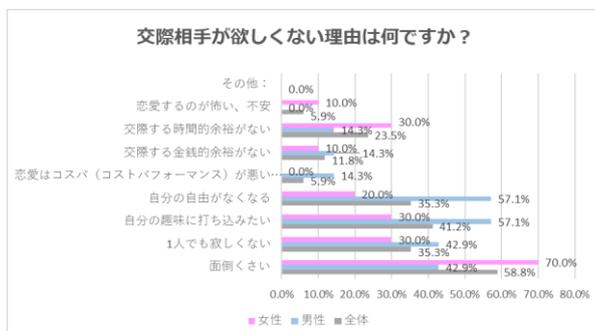


「交際相手がほしい」と回答した人の理由は「一緒に時間を過ごす相手がほしい」(69.3%)、「ときめきたい」(47.1%)となり、男性は「Hがしたい」という理由が次に続きました。

ちなみに昨年は「一緒に過ごす時間が欲しい」が74.8%、「ときめきたい」が39.4%という結果で、「ときめきたい」が7.7%も高い結果となっていることから、恋愛に対する『情緒的な期待』がより高まっていることが調査結果からうかがえます。



一方で、「交際相手が欲しくない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「面倒くさい」(昨年 53.3%⇒今年 58.8%)、「自分の趣味に打ち込みたい」(同 66.7%⇒同 41.2%)、「自由な時間が無くなる」(同 35.3%⇒26.7%)となり、これらの中で昨年と比較して「面倒くさい」が5.5%割合が高くなり、それ以外は低くなっていることがわかります。



一方で、昨年「交際する金銭的余裕がない」の割合が40.0%だったものが、今回の調査では11.8%と30%近くも割合が大きく低下したことは、若者を取り巻く環境、意識そのものがこの一年で大きく変化したことがうかがえます。

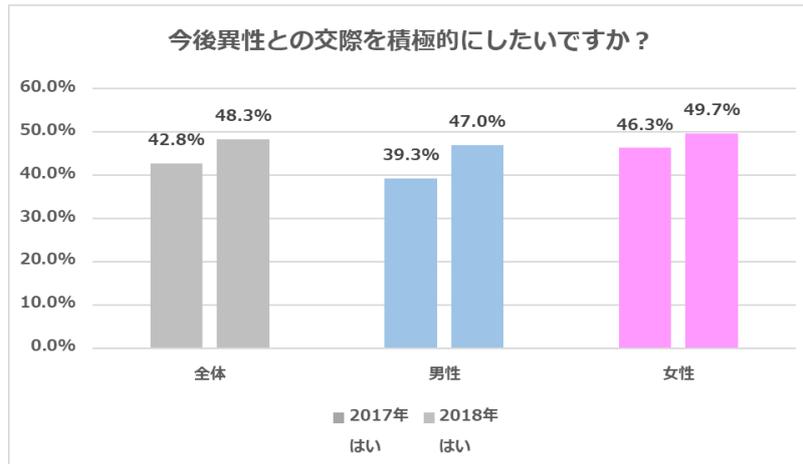
・今後異性との交際を「積極的にしていきたい」が48.0%で、昨年の42.8%よりも5.2%拡大！

現在「交際している」「交際していない」に関わらず、全体で48.0%の男女が、今後も異性との交際を積極的にしていきたいと回答し、この結果も昨年より5.2%高い割合となりました。男女ともに昨年と比較して割合が高まっていることから、若者にとって異性との交際を躊躇する要因が少なくなっていることがうかがえます。特に男性については8%近く異性との交際を積極的にしていきたいという回答が増えたことは若い男性の草食化が終焉に向かっていく一つの根拠としていえるのかもしれませんが。

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

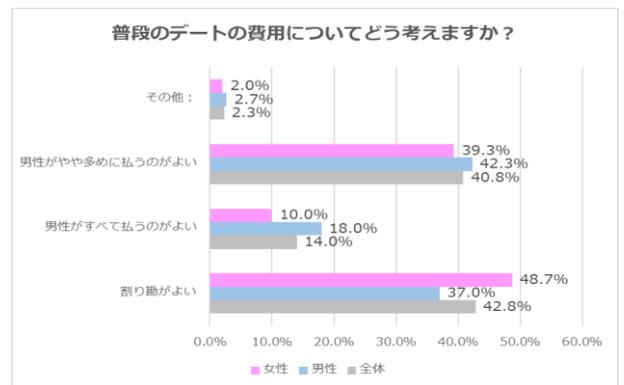
TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com



・「デートの費用は割り勘がよい」と考える割合は、男性が37.0%、女性が48.7%！

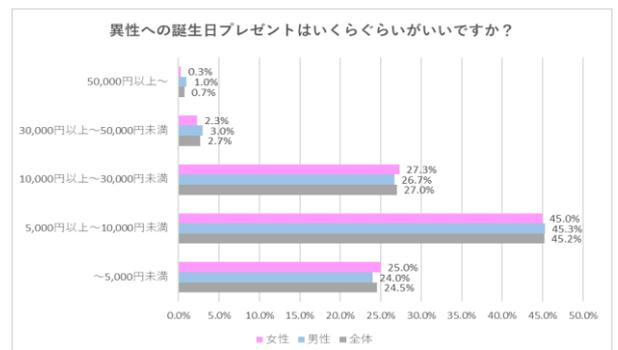
全体では42.8%がデート費用は割り勘がよいと考えており、昨年の45.7%と比較して約3%減少する結果となりました。

女性は一昨年の36.6%から昨年53.0%となり、今回の調査では48.7%という結果となり、成人女性の二人に一人は、デート費用は割り勘でもOKと考えていることが分かりました。



・恋人への誕生日プレゼントの金額は、全体で昨年調査とほぼ同様の5,000円～10,000円が45.2%！

全体では5,000円～10,000円が45.2%という結果で、昨年の調査結果45.7%と同水準となりましたが、5,000円未満の回答が昨年の29.0%⇒24.5%と5%低くなった半面、10,000円～30,000円の回答が昨年の24.0%⇒27.0%と3.0%高くなったことから、昨年の成人と比較して経済感覚にも少し変化がみられる調査結果となりました。



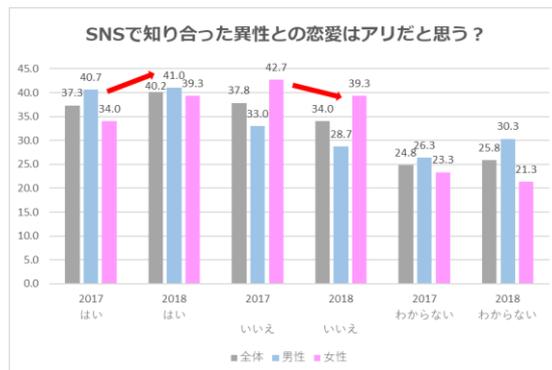
【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

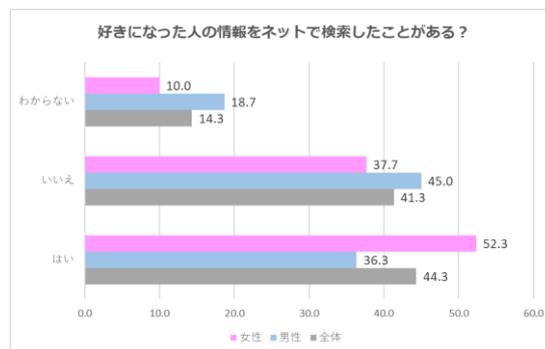
・「SNS で知り合った異性との恋愛はあり」については、昨年の 37.3%から 40.2%へと 5%の増加！

全体では「SNS で知り合った異性との恋愛はあり」が増加傾向にあり、特に女性に関しては昨年の 34.0%⇒39.3%と 5.3%割合が上昇し、「いいえ」という回答がこの一年で男女ともに割合が低くなっていることから、SNS による出会いや恋愛が年々若者のあいだで浸透していることがわかります。



・「好きになった人をネットで検索したことがある」のは、全体で 44.3%、昨年の 37.2%から 7%増加！

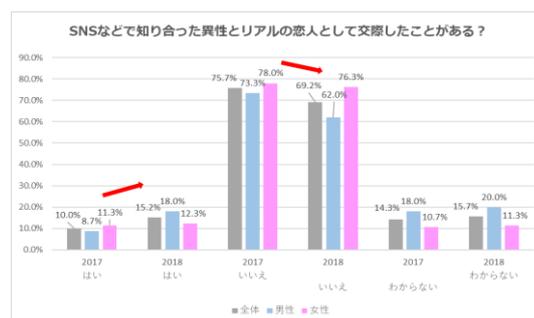
もはや何でもネットで検索するのは当たり前という世代であり、特に女性の 5 割以上が好きになった人を検索しているという結果となりました。この結果も昨年の 37.2%と比較して 7%近く割合が高くなっています。



・「実際に SNS で知り合いリアルなつき合いをした事がある」は、昨年の 10.0%から 15.2%に増加！

では実際に SNS で知り合いリアルなお付き合いをしたことがある若者はどれだけいるのかを調査した結果、全体では 15.2%となり 7 人に一人の割合で、昨年の 10 人に一人からは増加したものの、まだまだ全体では 10 人に一人程度という結果となりました。

ただし男性については昨年の 8.7%から 18.0%と大幅に割合が増加しており、男性は約 5 人に一人が SNS で知り合いリアルなつき合いをした経験ありという結果となりました。



【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

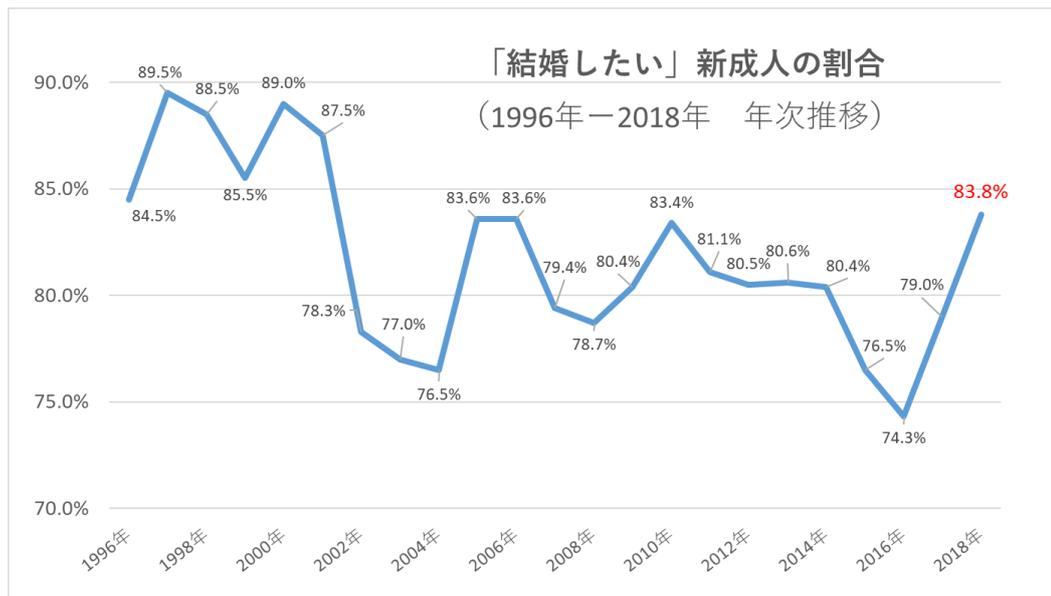
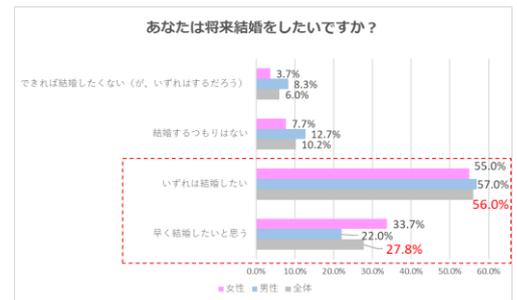
(2) 新成人の〈結婚意識〉

「結婚したい」新成人の割合が83.8%、過去16年間で最も高い割合まで回復！

1998年、2000年の調査では「結婚したい」という回答が89.5%、89.0%と新成人の10人中9人が「結婚をしたい」という調査結果となり、結婚することは新成人にとって当たり前の認識であった時期といえます。しかし、2001年の調査結果で87.5%と少し割合が低下した翌年2002年には、78.3%となり2000年から2年間で10%近くも「結婚したい」割合が減少し、2002年からの16年間で「結婚したい」と回答した割合が83%を上まわった年は、2005年、2006年そして2010年の3回しかなく、その間、若者の恋愛離れや結婚意識の低下が話題として取り上げられることが多く、恋愛離れとあわせて特に結婚に対する若者の意識の低下というテーマはあらゆる方面で話題となっています。昨年の調査では、過去最低となった2016年と比較して「結婚したい」という意識が急激に回復し、V字回復傾向に転じた調査結果を報告いたしました。今年の調査結果では、恋愛意識の高まり同様に、さらにその傾向が強まり、過去16年の調査結果の中で最も「結婚したい」という新成人の意識が高まりを示す調査結果となりました。

・「結婚したい」が83.8%で、昨年の79.0%より3.8%上昇！過去16年間で最も高い割合に！

2002年(78.3%)以降16年間で「結婚したい」と回答した割合が83%を超えた年は、2005年、2006年、そして2010年の3回の調査と比べて上回る調査結果となり、新成人の結婚に対する意識が2002年からの16年間で最も高いという調査結果となりました。昨年の調査結果の新成人の結婚への意識の高まり(79.0%)が一過性のものでなく、新成人を含め若い世代の結婚への意識が年々高まっていることが調査結果からわかりました。



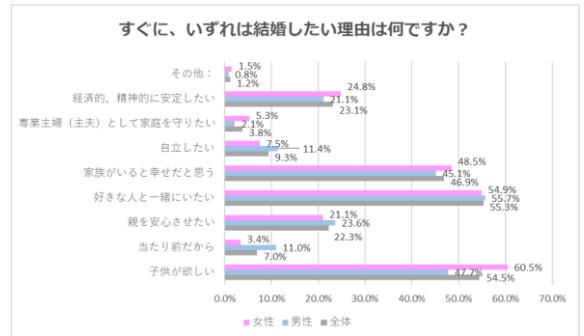
【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

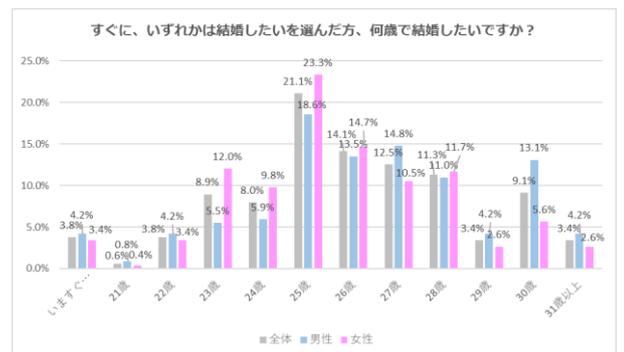
・「結婚したい」理由は、「好きな人と一緒にいたい」「子供がほしい」「家族がいると幸せ」

「結婚したい」理由は例年と大きな変化はなく、また、男女間でも大きな違いは見られませんでした。



・結婚したい希望年齢は、25歳が男女とも割合が高く、25歳～29歳が男女共に6割を超える結果に！

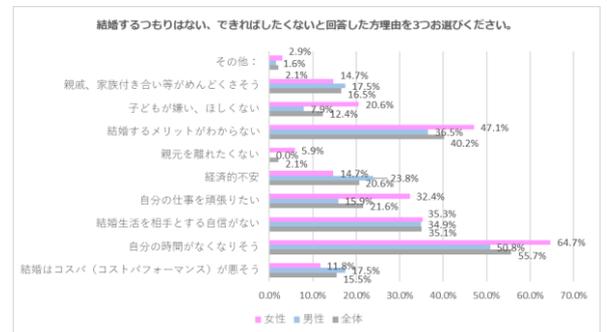
「結婚したい」と回答した人に、何歳で結婚をしたいかを質問したところ、男女ともに最も多かった年齢は、25歳で、続いて26歳、27歳、28歳という結果となり、男女ともに25歳から30歳までの間に結婚をしたいと考えていることが調査結果からわかりました。また、24歳までに結婚したいと考えている人の割合は全体の25%で、31歳以上が3.4%という調査結果となりました。



この結婚希望年齢については、昨年の調査では5歳刻みで調査しましたが、今回の調査と同じ傾向値となり、26歳～30歳（51.7%）、21歳から25歳（37.3%）、そして30歳以上が9.1%という結果となりました。

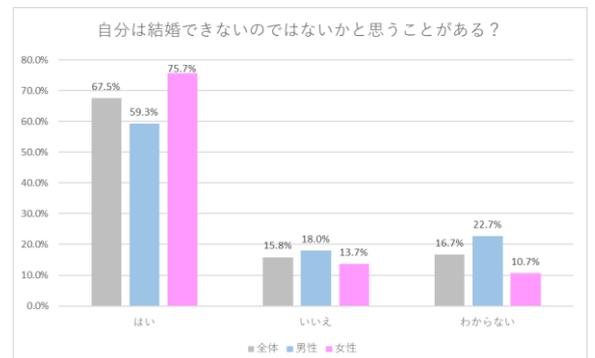
・「結婚をするつもりはない」「するつもりはないがいずれはするだろう」と回答したその理由は？

一方で、「結婚をしたくない」「したくないがいずれするだろう」と回答した結婚を望まないという若者にその理由を聞いた結果、「自分の時間がなくなりそう」「結婚のメリットがわからない」「結婚生活の自信がない」の3つが男女共通の主な理由となりました。また、女性では「自分の仕事をがんばりたい」が続き、男性では「経済的不安」が次に続く結果となりました。



・調査対象600名全員に「自分は結婚できないかもしれない？」と質問すると、約6割が「はい」と回答

「結婚したい」「結婚したくない」「希望しない」という回答のいずれかを全員が選択しましたが、今回の調査対象600名に「自分は結婚できないかもしれないと思うことがある」と聞いたところ、実に約7割にあたる67.5%の男女が、「ある」と回答し、男性の59.3%に対して女性の75.7%が「結婚できないかもしれないと思うことがある」という結果となりました。まだ20歳という学生で未就であったり、職業に就いて間もない環境で、この調査結果はある意味想定できる結果となります。



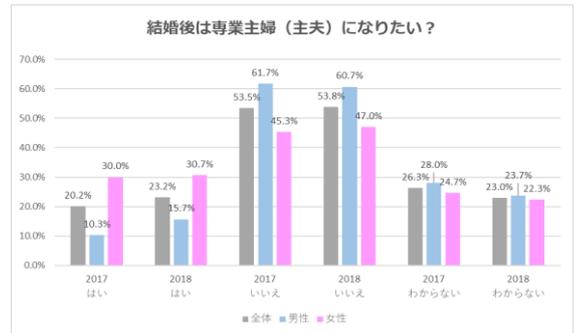
【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

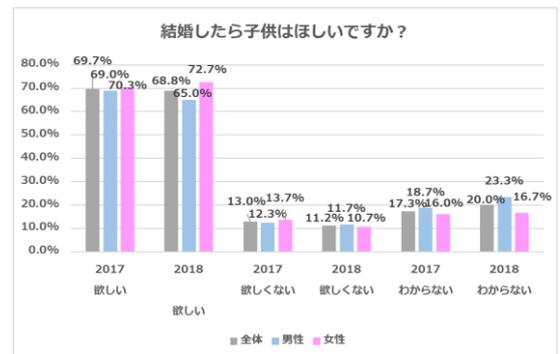
・「専業主婦（主夫）になりたい?」、という質問に女性は昨年と横ばい、男性は5%増加する結果に?!

「専業主婦（主夫）になりたい?」という質問に対して、女性が昨年と同じ調査結果（30.7%）であるのに対して、男性の「はい」という割合が、10.3%から15.7%と今回の調査で5%増加する結果となりました。男女共働き夫婦が当たり前の時代となり、状況によっては女性が家計を担い、男性が専業主夫であるという選択肢が、今後は少数とはいえ普通に選択肢の一つに入ってくるのかもしれませんが。



・結婚後の「子供がほしいかですか」の質問に、全体で7割が「ほしい」、昨年とほぼ変わらず!

結婚後に子供が欲しいかどうかという質問に対しては、約7割の68.8%が欲しいという回答で、男女ともに同じ割合となり、昨年とほぼ同じ調査結果となりました。「いらない」と回答した割合は約1割となり、約2割は「わからない」という回答となりました。



－ 調査概要 －

- 調査名：楽天オーネット 第23回 新成人意識調査 2018年 新成人の「恋愛・結婚」に関する意識調査
- 調査地域：全国
- 調査対象：1997年4月2日～1998年4月1日に生まれた20歳の男女
- 調査方法：インターネットを利用したクローズ調査
- 調査日：2017年11月29日(水)～12月5日(火)
- 調査主体：株式会社オーネット
- サンプル数：600人（男性300人/女性300人） ※1997年生：29.7%、1998年生：70.3%

※ 表記の無い場合の単位は%です。調査結果の数値は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計で100%にならないことがあります。

※ 出版物・印刷物等、本資料をご使用になる場合には、「結婚相手紹介サービス「楽天オーネット」調査」と明記ください。その際には楽天オーネット広報グループ宛に連絡いただきますと幸いです。

※ことぶき科学情報

第1回発行は、VOL.1 1996年01月「新成人の恋愛・結婚観/団塊ジュニアの意識調査」です。

ことぶき科学情報では、新成人の恋愛・結婚に関する意識調査をはじめ、各年代の未婚・既婚男女の恋愛・結婚に関する意識調査を様々な角度から行い、その結果を毎月リリースしています。

※昨年の調査リリース等はこちらをご確認ください。 <https://onet.rakuten.co.jp/company/release/>

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com

■ ■ 株式会社オーネット 会社概要 ■ ■

楽天グループの結婚相手紹介サービス<楽天オーネット>を展開。

◎「データマッチング」、「WEB や会員誌による検索」、「写真による検索」、「パーティー・イベント」、「お引き合わせ」など、豊富な出会いの機会をご提供。

◎専任の結婚アドバイザーによる手厚いサポートにより、結婚のためのさまざまなニーズにお応えいたします。

代表者：代表取締役社長 森谷 学

創業：1980年4月 株式会社オーエムエムジー創業

設立：2007年12月 楽天グループに事業承継、株式会社オーネット設立

本社所在地：東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 楽天クリームゾンハウス



楽天オーネット <https://onet.rakuten.co.jp/>
・結婚チャンステスト https://onet.rakuten.co.jp/marriage_test/
・婚活プラン <https://onet.rakuten.co.jp/planning/>

◆◆ 楽天オーネット スーペリア ◆◆

<サービス概要>

中高年専門のパートナー探しの機会をご提供しており、同世代の会員さま同士、楽しい活動を通じてお相手探しができるサービス内容となっております。年齢を重ね、人生経験豊富な皆さまだからこそ、「結婚」だけにこだわらない、さまざまなパートナーの形があります。

「明日を今日よりも充実したものにしたい!」、「人生を今よりももっと輝いたものにしたい!」という会員の皆さまの想いを実現できるよう各種サービスを提供させていただきます。



◎入会資格

男性 50 歳以上 定職・定収入がある独身者

女性 45 歳以上 独身者

※ご入会にあたっては、公的な「独身証明書」の提出が必要です

◎サービス提供エリア

関東（銀座支社）、関西（大阪北支社）、東海（名古屋支社）、九州（福岡支社）

※今後、全国の楽天オーネット支社にてサービス提供エリアを拡大予定

◎料金

入会金 30,000 円（税別） / 月会費 10,000 円（税別）

◎提供サービス

<基本サービス> 紹介書発行

<オプションサービス> お引き合わせサービス、イベント・パーティー、フォトジェニックサービス

◆楽天オーネットスーペリア

中高年の出会いを真心中で応援 ナカノブログ

<https://onet.rakuten.co.jp/superior/>

<http://onet.rakuten.co.jp/superior/advisor-blog/>

【報道関係社様問い合わせ先】

楽天オーネット 広報グループ

TEL : 050-5817-5606 FAX : 03-3700-5965 E-mail : onet-pr@mail.rakuten.com